

資源循環型社会づくりへのご提案

地域内であまり有効に利用されていないバイオマス等を活用して資源循環型社会を構築する。
地域内処理・地産・地消のお手伝いにラブ・マシーン(RUB-MACHINE)が活躍します。



「ラブ・マシーンにて処理した物」
繊維の先まで細かくすり潰されている
ふわふわな状態になり発酵・分解が早くな



「チップパーにて処理した物」
断面は切断されたまま。
大きな塊を小さくしただけ



1、伐採木、園芸の選定枝や刈り草で牛舎の敷料を作る

与論町での取り組み



2、サトウキビの葉をすり潰しバガスと混ぜて有機物資材として畑へ還元する

南大東島での取り組み



製糖工場へ運ばれたサトウキビと分離された葉っぱをRub-Machineで解砕処理。バガスケーキと混ぜてサトウキビ畑へ還元。今まで1年間寝かせていた葉っぱがRub-Machine処理後2~3日後には畑へ散布され有機物不足を補います。製糖期の終わりには葉っぱ・トラッシュもなくなります。

3、生ごみを焼却せずに高速堆肥化

実用化に向けて試験中



生ゴミと木チップをラブ・マシーンで同時にすり潰すことにより、臭いの問題と高速堆肥化を同時に解決しようとしています。大型の設備は不要です。し尿脱水汚泥も処理可能です。

各地域にはそれぞれ違った問題があります。それを解決する道具としてラブ・マシーンをご活用ください。
1ページ